

飼養衛生管理の「隙」を埋めるポイント

飼養衛生管理の「隙」を埋める対策（ポイント）

従来の取組に加え、今シーズンの知見を生かした新たな対策も重要

<従来の取組>

- ✓ 特定症状に限らず、異状が確認された場合の早期通報の徹底
- ✓ 野鳥や野生動物の侵入防止
 - ネット等の設置、点検及び修繕、ねずみや害虫の駆除等
- ✓ カラス・野鳥の誘引防止
 - テグス張り、農場周辺の住処の除去、ため池の水抜き、刈込み等

<今シーズンの事例を踏まえた新たな対策>

- ✓ 農場外の関係者を含めた飼養衛生管理の徹底
 - 例外なき靴・衣服の交換や消毒の徹底
 - 不要不急の工事の延期
- ✓ 鶏舎への塵埃（じんあい）侵入防止
 - 鶏舎周辺の散水・消毒、フィルターや噴霧器の設置等

今シーズンの事例を踏まえた新たな「隙」を埋める対策

- 今シーズンでは、農場への外部入場者が靴の履き替え等の飼養衛生管理が不十分であった事例や、乾燥し塵埃が舞いやすい環境下において換気をした後に入気口周辺に死亡鶏が分布していた事例が見られた。
- 農場外の関係者を含めた飼養衛生管理の徹底（不要不急の工事の延期等）や、鶏舎への塵埃侵入防止対策（乾燥した環境下における散水・消毒等）も、農場の「隙」を埋める対策として重要と考えられる。

塵埃侵入防止

- 事例：
 - 乾燥し塵埃が舞いやすい環境下において換気をした後に入気口周辺に死亡鶏が分布していた事例が見られた。
- 対策：
 - 農場に塵埃が大量に侵入する状況避けるため、
 - ✓ ウインドウレス鶏舎であれば、フィルターの設置
 - ✓ 開放鶏舎であれば、乾燥環境下における散水・消毒が有効ではないか。

フィルター・細霧装置の設置

- 消費・安全対策交付金（家畜衛生の推進（ハード））で支援可能
2. 飼養衛生管理の向上
特に高病原性鳥インフルエンザ対策に資する鶏舎入気口フィルター及び細霧装置の整備を支援します。

[お問い合わせ先]
消費・安全局動物衛生課（03-3502-8292）

農場外の関係者を含めた飼養衛生管理の徹底

- 農場出入りの際の消毒等の徹底、不要不急の工事の延期



ウイルスが侵入し得る「隙」

- 飼養衛生管理の基本は、農場に病原体を持ち込まないこと。農場の「隙」を埋める不断の取組が重要。
- 野鳥・野生動物の侵入・誘引防止など従来の対策に加え、今シーズンの発生事例を踏まえた対策強化も必要。

金網や防鳥ネット等の破損



集卵ベルトや鶏糞排出口の隙間



堆肥舎での卵や廃鶏の放置による野鳥の誘引



鶏舎周辺の野鳥の住処等の除去



外部作業者の消毒の不徹底

